

◆フットワークが「軽すぎる」チームのリスク◆

さて、あなたの会社には、フットワークの軽さで評価されているチームはありませんか。

- ◆ _____ ◆
フットワークが「軽すぎる」チームのリスク
- ◆ _____ ◆

現場判断が早い。変化にもすぐ対応できる。フットワークの軽さは、組織にとって大きな強みです。

ただ一方で、こんな違和感を覚えたことはないでしょうか？

- ◆ 決めたことがいつの間にか変わっている
- ◆ すべてはリーダー次第という空気になる
- ◆ メンバーが「様子見」になっている

フットワークの軽さは強みであると同時に、行き過ぎるとリーダーの判断の重みが薄れるというリスクがあります。

そして、チーム内には『どうせまた変わるだろう』『深く考えても意味がないかもしれない』そんな空気が生まれてしまう可能性があるのです。

その結果、メンバーは考えたり議論したりすることを手放し、無難な選択をするようになります。

こうした状況が続くと、チームとしての判断力や主体性が弱まり、リーダーの言葉や決定に対する重みも薄れることになりかねません。

では、このような状態を改善するには、どうしたらよいのでしょうか。

実際に、フットワークの軽さを活かしながら成果を出しているチームでは、次のような工夫をしているそうです。

- 判断の背景や考え方を、リーダーが言葉にして伝える
 - 方針を変えるときは必ず「変える理由」を共有する
 - 決めたことは、一定期間はやり切る前提をもつ
- など。

フットワークの軽さは、正しく使えば大きな武器です。

そこに明確な判断の軸が加われば、動きが速いだけでなく、納得感と説得力のあるチームになります。

ぜひ、軽やかさと強さを両立したチームづくりを進めていきましょう。

□ ■ □ _____

編集後記

_____ □ ■ □

今回は「フットワークが軽すぎるチームのリスク」をテーマにお伝えしました。

フットワークが軽すぎると、流れについていけず、自発的な動きを抑えてしまうことはありますよね。

最後までお読みいただきましてありがとうございます。

ご不明な点がございましたら、ご遠慮なくお問い合わせください。

今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

